

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数
花園小	下回った	下回った
埼玉県	68	62
全国	67.2	62.5

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	花園小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	93.6	94.4	93.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	86.2	83.1	81.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	91.7	91.7	90.5
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	10.1	12.4	12.6
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	78.0	73.4	70.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	82.6	80.9	77.4
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	81.7	83.0	78.8
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	52.3	59.4	57.1
教科への関心	国語の勉強は好きだ	60.5	61.6	61.5
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	94.5	94.0	92.8
	算数の勉強は好きだ	65.1	61.2	61.4
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	94.5	94.1	93.3
	英語の勉強は好きだ	80.6	69.6	69.3
	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	56.9	54.1	52.5
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.7	83.0	78.8
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	62.4	68.4	63.7
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	77.0	79.5	74.4
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	85.3	84.7	81.8
その他	自分には、よいところがあると思う	85.3	85.6	83.5
	将来の夢や目標をもっている	84.4	82.7	81.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	95.4	96.3	95.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	59.6	56.8	57.8

【質問紙分析】

- ・生活習慣について、生活リズムよく起床・就寝できている児童の割合が全国や県と比べて高く、家庭での習慣付けがされていることが分かる。ただ、朝食や新聞を読む習慣については少し低かった。
- ・学習習慣について、授業における児童の取り組み方や家庭学習への取り組み方等については比較的高く、学校でも家庭でも学習への取組が悪くないものであることが分かる。ただ、家庭学習の時間については全国や県と比べると少な目であった。
- ・教科への関心について、どの教科への関心も比較的高めである。中でも英語については、好きと感じていたり、将来生かしたいと思っていたりする児童の割合が高いことが分かった。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

○国語 3 二

- ・出題の趣旨は「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」である。国語科の授業や学級会等を通して、話し手の内容を捉える学習を積み重ねてきた結果であると考えられる。

○国語 3 三

- ・出題の趣旨は「日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる」である。国語科で扱った敬語等の言葉について、生活の中での実践も含めて指導し、それが定着しつつある結果であると考えられる

●国語 1 四

- ・出題の趣旨は「文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる」である。話や文章の種類とその特徴について捉えるにあたり、文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開等について上手く考えられていないことが原因であると考えられる。

●国語 2 二

- ・出題の趣旨は「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」である。問題文について、そこから必要な情報を取捨選択して再構成されたものがどれなのかを区別することができておらず、筆者の論の進め方やその捉え方に慣れていないことが原因であると考えられる。

【算数】

○算数 4 (2)

- ・出題の趣旨は「『以上』の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる」である。4年生における概数の学習において、用語の意味理解やその定着がしっかり図られた結果であると考えられる。

○算数4（4）

- ・ 出題の趣旨は「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる」である。問題の意図に加えて、表の2つの観点を捉えて整理できており、4年生からの表の見方を繰り返し正確に学習できてきていることからくる結果と考えられる。

●算数3（4）

- ・ 出題の趣旨は「(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる」である。割り算の筆算を考えるにあたり、図と関連させながら分かりやすく捉える段階において、筆算での計算はできるが、その意味理解が不十分で、捉え切れていないことが原因であると考えられる。

●算数4（1）

- ・ 出題の趣旨は「百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる」である。百分率で表された割合である30%について、100人や10人を基準量としたとき、それらに対する比較量を捉えられていないと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・ 読書活動の充実により、文章を読む力の向上を図る。
- ・ コラム学習等により、文章のポイントになる部分を押さえる力の向上を図る。
- ・ 語彙を増やすことにより、文章を読んだり書いたりする力の向上を図る。

【算数】

- ・ 授業時間内での児童の知識の定着と教師の見取を強化するため、習熟問題への取組を徹底する。
- ・ 計算ドリルなどを活用した基礎基本の定着を図る。
- ・ 前時の復習を活用して、算数用語の意味や公式や筆算の定着を図る。

【その他】

- ・ 職員で共通理解を図り、学校全体で学力向上に取り組めるようにする。
- ・ 授業中、児童が考える時間と発表する時間を確保し、理解度が上がるようにする。
- ・ 腰骨タイムの充実により、学習の構えをつくって集中して取り組めるようにする。